

花泉



大輪のペゴニアを楽しむ家族連れ



足湯につかって温まる来園者



沿道の声援を受けタスキをつなく選手

秋の花泉路を力走 町内一周駅伝大会

第24回花泉町内一周駅伝大会は11月27日、花泉運動公園多目的競技場を発着点に行われました。地域内5地区から7チームが出場。小雨が降る肌寒い天候でしたが、沿道からはたくさんの町民が選手に温かい声援を送っていました。13区間42.05キロをタスキをつないで健脚を競った結果、涌津Aが3年連続10回目の優勝を果たしました。

2位以下は次のとおりです。②花泉A③老松④金沢⑤永井⑥涌津B⑦花泉B

花とイベントでにぎわい ペゴニア館無料開放デー

新市民に花と泉の公園に親しんでもらおうと11月19日、20日の両日、ペゴニア館の無料開放が行われ、2日間で1200人余りの市民が訪れました。大輪のペゴニアの花や郷土芸能などのステージ、もちやはっとなど地域の味覚を満喫しました。

一関地域から家族と来たという女性は「ぼたん園には何度か来ましたが、ペゴニア館は初めて。とってもきれいですね。来客があったときには案内したいですね」と満足そうに話していました。

19日にはリング皮むき大会を実施。1分間にむいた皮の長さを競いました。市民など28人が出場し、花泉町涌津の菅原律子さんが1錠37秒の記録で優勝しました。

また地域内の温泉・舞の湯が提供するゆったり足湯コーナーでは、ひざ下を温泉にひたすと、体中がぼかぼか温まると好評でした。20日に体験した来園者は「足湯は初めてですが、とても気持ちいいですね」と楽しそうでした。



花束を受けとる千葉カツさん(左から2人目)

おめでとうございます 千葉カツさんが100歳に

ソエル花泉に入所している千葉カツさんが11月26日、100歳の誕生日を迎えました。市と社会福祉協議会、家族、施設関係者がカツさんを囲み、長寿を祝いました。

市からは市長代理の田野崎捷吾地域自治区長がカツさんに花束と祝状、記念品を贈りました。また内閣総理大臣からの祝い状も披露されました。

カツさんは4年前まで老松で次男夫婦と同居。子ども4人、孫6人、ひ孫6人、やしゃごが2人います。兄弟姉妹にも長寿の方が多いことから、「(長生きの秘訣は)長寿の家系だよ」と話していました。